



SMBサーバでのデフォルト**Windows**ユーザから**UNIX**ユーザへのマッピングの設定

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

SMBサーバでのデフォルトWindowsユーザからUNIXユーザへのマッピングの設定	1
デフォルトのONTAP SMB UNIXユーザーを設定する	1
ゲストONTAP SMB UNIXユーザーを構成する	2
管理者グループをONTAP SMBルートにマッピングする	3

SMBサーバでのデフォルトWindowsユーザからUNIXユーザへのマッピングの設定

デフォルトのONTAP SMB UNIXユーザーを設定する

特定のユーザーに対する他のすべてのマッピング試行が失敗した場合、またはUNIXとWindows間で個々のユーザーをマッピングしたくない場合は、デフォルトのUNIXユーザーを設定できます。一方、マッピングされていないユーザーの認証を失敗させたい場合には、デフォルトのUNIXユーザーを設定しないでください。

タスク概要

デフォルトでは、デフォルトUNIXユーザの名前は「pcuser」です。これは、デフォルトUNIXユーザへのユーザマッピングがデフォルトで有効になっていることを意味します。デフォルトUNIXユーザとして使用する別の名前を指定することもできます。指定する名前は、Storage Virtual Machine (SVM) 用に設定された名前サービスデータベースに存在する必要があります。このオプションがNULL文字列に設定されている場合、UNIXデフォルトユーザとしてCIFSサーバにアクセスすることはできません。つまり、各ユーザはCIFSサーバにアクセスする前に、パスワードデータベースにアカウントを持っている必要があります。

ユーザーがデフォルトの UNIX ユーザー アカウントを使用して CIFS サーバーに接続するには、次の前提条件を満たしている必要があります：

- ユーザーは認証されています。
- ユーザーは、CIFS サーバーのローカル Windows ユーザー データベース、CIFS サーバーのホーム ドメイン、または信頼されたドメイン（CIFS サーバーでマルチドメイン名マッピング検索が有効になっている場合）に存在します。
- ユーザー名は明示的に null 文字列にマップされていません。

手順

1. デフォルトのUNIXユーザを設定します。

状況	コマンド
デフォルトのUNIXユーザー「pcuser」を使用する	<pre>vserver cifs options modify -default -unix-user pcuser</pre>
別のUNIXユーザーアカウントをデフォルトユーザーとして使用する	<pre>vserver cifs options modify -default -unix-user user_name</pre>
デフォルトのUNIXユーザを無効にする	<pre>vserver cifs options modify -default -unix-user ""</pre>

```
vserver cifs options modify -default-unix-user pcuser
```

2. デフォルトの UNIX ユーザーが正しく設定されていることを確認します：

```
vserver cifs options show -vserver vserver_name
```

次の例では、SVM vs1 上のデフォルトの UNIX ユーザーとゲスト UNIX ユーザーの両方が、UNIX ユーザー「pcuser」を使用するように設定されています：

```
vserver cifs options show -vserver vs1
```

```
Vserver: vs1

Client Session Timeout : 900
Default Unix Group      : -
Default Unix User       : pcuser
Guest Unix User         : pcuser
Read Grants Exec        : disabled
Read Only Delete        : disabled
WINS Servers            : -
```

ゲストONTAP SMB UNIXユーザーを構成する

ゲストUNIXユーザーオプションを設定すると、信頼されていないドメインからログインしたユーザーはゲストUNIXユーザーにマッピングされ、CIFSサーバーに接続できるようになります。一方、信頼されていないドメインのユーザーの認証を失敗させたい場合は、ゲストUNIXユーザーを設定しないでください。デフォルトでは、信頼されていないドメインのユーザーはCIFSサーバーに接続できません（ゲストUNIXアカウントは設定されていません）。

タスク概要

ゲスト UNIX アカウントを構成するときは、次の点に留意してください：

- CIFSサーバがホーム ドメインまたは信頼できるドメインのドメイン コントローラ、もしくはローカル データベースに対してユーザを認証できず、このオプションが有効である場合、CIFSサーバはユーザをゲスト ユーザとみなし、そのユーザを指定したUNIXユーザにマッピングします。
- このオプションがヌル文字列に設定されている場合、ゲストUNIXユーザーは無効になります。
- いずれかのStorage Virtual Machine (SVM) ネーム サービス データベースで、ゲストUNIXユーザとして使用するUNIXユーザを作成する必要があります。
- ゲスト ユーザーとしてログインしたユーザーは、自動的に CIFS サーバー上の BUILTIN\guests グループのメンバーになります。
- 「homedirs-public」オプションは認証されたユーザーにのみ適用されます。ゲストユーザーとしてログインしたユーザーにはホームディレクトリがないため、他のユーザーのホームディレクトリにアクセスできません。

手順

1. 次のいずれかを実行します。

状況	入力する内容
ゲストUNIXユーザを設定する	<code>vserver cifs options modify -guest -unix-user <i>unix_name</i></code>
ゲスト UNIX ユーザーを無効にする	<code>vserver cifs options modify -guest -unix-user ""</code>

```
vserver cifs options modify -guest-unix-user pcuser
```

2. ゲスト UNIX ユーザーが正しく設定されていることを確認します：`vserver cifs options show -vserver vserver_name`

次の例では、SVM vs1 上のデフォルトの UNIX ユーザーとゲスト UNIX ユーザーの両方が、UNIX ユーザー「pcuser」を使用するように設定されています：

```
vserver cifs options show -vserver vs1
```

```
Vserver: vs1

Client Session Timeout : 900
Default Unix Group      : -
Default Unix User       : pcuser
Guest Unix User         : pcuser
Read Grants Exec        : disabled
Read Only Delete        : disabled
WINS Servers            : -
```

管理者グループをONTAP SMBルートにマッピングする

環境内に CIFS クライアントのみがあり、ストレージ仮想マシン (SVM) がマルチプロトコル ストレージ システムとしてセットアップされている場合は、SVM 上のファイルにアクセスするためのルート権限を持つ Windows アカウントが少なくとも 1 つ必要です。そうでない場合、十分なユーザー権限がないため、SVM を管理できません。

タスク概要

ストレージ システムが NTFS 専用として設定されている場合、`\etc` ディレクトリにはファイル レベルの ACL があり、管理者グループが ONTAP 構成ファイルにアクセスできるようになります。

手順

1. 権限レベルをadvancedに設定します：`set -privilege advanced`
2. 必要に応じて、管理者グループをルートにマッピングするCIFSサーバーオプションを構成します：

状況	操作
管理者グループのメンバーをrootにマップする	<code>`vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-admin-users-mapped-to-root-enabled true`</code> 管理者グループに属するすべてのアカウントは、たとえ <code>`/etc/usermap.cfg`</code> アカウントをrootにマッピングするエントリがない場合でも、rootとみなされます。管理者グループに属するアカウントを使用してファイルを作成した場合、UNIXクライアントからそのファイルを表示すると、そのファイルの所有者はrootになります。
管理者グループのメンバーをrootにマッピングしないようにする	<code>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-admin-users-mapped-to-root-enabled false</code> 管理者グループのアカウントはrootにマッピングされなくなりました。rootに明示的にマッピングできるのは単一のユーザーのみです。

3. オプションが目的の値に設定されていることを確認します：`vserver cifs options show -vserver vserver_name`
4. admin権限レベルに戻ります：`set -privilege admin`

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。